

関係各位

薬局だより

薬剤部

定例薬事委員会において新規購入薬品等を下記のように決定いたしました。

1) 新規採用薬品(10月1日から)

薬品名	成分	メーカー	用法・用量	適応症	依頼科
フェンロデックス筋注 250mg (薬価: 50792.00/1筒)	1筒/5ml: フルベストラント250mg	アストラ ゼネカ	通常、成人には本剤2筒を、初回、2週後、4週後、その後4週ごとに1回、左右の臀部に1筒ずつ筋肉内投与する。なお、閉経前乳癌に対しては、LH-RHアゴニスト投与下でCDK4/6阻害剤と併用すること。	乳癌	乳腺外科
タゾピペ配合静注用2.25 「明治」 (薬価: 685/1瓶)	1瓶: タゾバクタム0.25g、ピペ ラシリン水和物2.0g	MeijiSeika ファルマ	通常、成人には1回4.5gを1日3回点滴静注する。肺炎の場合、1日4回まで増量できる。 通常、小児には1回112.5mg/kgを1日3回点滴静注する。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。	敗血症、深在性皮膚感染症、びらん・潰瘍の二次感染、肺炎、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎	集中 治療部
ポルヒール 組織接着用5mL (薬価: 55,051.20/1組)	1組: フィブリノゲン加第ⅩⅢ 因子	アステラス	フィブリノゲン凍結乾燥粉末をフィブリノゲン溶解液全量で溶解し、A液とする。 トロンビン凍結乾燥粉末をトロンビン溶解液全量で溶解し、B液とする。溶解した両液の等容量を接着・閉鎖部位に重層又は混合して適用する。 通常、10cm ² あたりA液B液各々1mLを適用する。	組織の接着・閉鎖 (ただし、縫合あるいは接合した組織から血液、体液または体内ガスの漏出をきたし、他に適切な処置法のない場合に限る。)	心臓 血管外科
ゾフルーザ錠 10mg (薬価: 1507.50/1錠) 20mg (薬価: 2394.50/1錠)	1錠: パロキサビル マルポキ シル10mg、20mg	塩野義	通常、成人及び12歳以上の小児には、20mg錠2錠を単回経口投与する。ただし、体重80kg以上の患者には20mg錠4錠を単回経口投与する。	A型又はB型インフルエンザウイルス感染症	感染症 内科

薬品名	成分	メーカー	用法・用量	適応症	依頼科
ケフレックスカプセル 250mg (薬価: 30.90/1カプセル)	1カプセル: セファレキシン250mg	塩野義	通常、成人及び体重 20kg以上の小児にはセ ファレキシンとして1回 250mg(力価)を6時間ご とに経口投与する。	表在性皮膚感染症、深在性 皮膚感染症、リンパ管・リン パ節炎、慢性膿皮症、外 傷・熱傷及び手術創等の二 次感染、乳腺炎、骨髄炎、 筋炎、咽頭・喉頭炎、扁桃 炎、急性気管支炎、肺炎、 慢性呼吸器病変の二次感 染、膀胱炎、腎盂腎炎、前 立腺炎、精巣上体炎、淋菌 感染症、子宮頸管炎、バル トリン腺炎、子宮内感染、涙 嚢炎、麦粒腫、角膜炎、外 耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、 化膿性唾液腺炎、歯周組織 炎、歯冠周囲炎、上顎洞 炎、顎炎、抜歯創・口腔手 術創の二次感染	感染症 内科
ピクシリン注射用2g (薬価: 666.00/1瓶)	1瓶: アンピシリンナトリウム2g	Meiji Seika ファルマ	成人 [筋肉内注射の場合] アンピシリンとして、通常、 成人には1回250～1000mg (力価)を1日2～4回筋肉内 注射する。 [静脈 内注射の場合] 通常、成人にはアンピシリン として1日量1～2g(力価)を 1～2回に分けて日局生理食 塩液又は日局ブドウ糖注射 液に溶解し静脈内注射し、 点滴静注による場合は、1 日量1～4g(力価)を1～2回 に分けて輸液100～500mL に溶解し1～2時間かけて静 脈内に点滴注射する。	敗血症、感染性心内膜炎、 表在性皮膚感染症、深在性 皮膚感染症、リンパ管・リン パ節炎、慢性膿皮症、外 傷・熱傷及び手術創等の二 次感染、乳腺炎、骨髄炎、 咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急 性気管支炎、肺炎、肺膿 瘍、膿胸、慢性呼吸器病変 の二次感染、膀胱炎、腎盂 腎炎、淋菌感染症、腹膜炎、 肝膿瘍、感染性腸炎、 子宮内感染、化膿性髄膜炎、 眼瞼膿瘍、角膜炎(角 膜潰瘍を含む)、中耳炎、副 鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠 周囲炎、顎炎、抜歯創・口 腔手術創の二次感染、猩紅 熱、炭疽、放線菌症	
ユナシン錠375mg (薬価: 53.20/1錠)	1錠: スルタミシリントシル酸塩 水和物375mg	ファイザー	通常、成人スルタミシリン として、1回375mg(力価) を1日2～3回経口投与す る。	表在性皮膚感染症、深在性 皮膚感染症、リンパ管・リン パ節炎、慢性膿皮症、咽 頭・喉頭炎、扁桃炎、急性 気管支炎、肺炎、肺膿瘍、 慢性呼吸器病変の二次感 染、膀胱炎、腎盂腎炎、淋 菌感染症、子宮内感染、涙 嚢炎、角膜炎(角膜潰瘍を 含む)、中耳炎、副鼻腔炎	
エムプリシティ点滴静注 用 300mg (薬価: 16,0696/1瓶) 400mg (薬価: 20,9587/1瓶)	1瓶: エロツズマブ(遺伝子組 換え)300mg、400mg	ブリistol・マ イヤー・スク イブ	レナリドミド及びデキサメ タゾンとの併用において、通 常、エロツズマブとして1回 10mg/kgを点滴静注する。 28日間を1サイクルとし、最 初の2サイクルは1週間間隔 で4回、3サイクル以降は2週 間間隔で2回点滴静注す る。	再発又は難治性の多発 性骨髄腫	血液・腫瘍 内科
ビダーザ注射用100mg (薬価: 41,961/1瓶)	1瓶: アザシチジン100mg	日本新薬	通常、成人にはアザシチジ ンとして75mg/m ² (体表面 積)を1日1回7日間皮下投 与又は10分かけて点滴静 注し、3週間休薬する。これ を1サイクルとし、投与を繰り 返す。	骨髄異形成症候群	
アルケラン静注用50mg (薬価: 7,929.00/1瓶)	1瓶: メルファラン500mg	アスペン	通常成人には、メルファラン として1日1回60mg/m ² を3日 間投与する。多発性骨髄腫 に対してはメルファランとし て1日1回100mg/m ² を2日間 投与(メルファラン2日間総 量200mg/m ²)も可とする。	下記疾患における造血 幹細胞移植時の前処置: 白血病、悪性リンパ腫、 多発性骨髄腫、小児固 形腫瘍	

薬品名	成分	メーカー	用法・用量	適応症	依頼科
アルブミン [®] 25%静注 12.5g/50mL (薬価:4,342.00瓶)	1瓶/50ml: 人血清アルブミン12.5g	GSLペーリン グ	通常成人1回20~50mL(人 血清アルブミンとして5~ 12.5g)を緩徐に静脈内注射 又は点滴静脈内注射する。	アルブミンの喪失及びア ルブミン合成低下による 低アルブミン血症、出血 性ショック	血液・腫瘍 内科

2) 剤型変更(在庫なくなり次第)

薬品名	成分	メーカー	薬効分類	備考	依頼科
プレセデックス静注液 200 μ g/50mLシリンジ 「マルイシ」 (薬価:5413.00/1筒 納入価:4,160/1筒)	1筒: デクスメトミジン塩酸塩 200 μ g	丸石	α 2作動性鎮静剤	プレセデックス静注液200 μ g(薬価:5098.00/1管)から 変更	救急科 麻酔科

3) 変更薬品(在庫なくなり次第)

変更前薬品名		変更後薬品名
1 アンカロン注150	→	アミオダロン塩酸塩静注150mg「TE」
2 クラビット点滴静注バッグ500mg/100mL	→	レボフロキサシン点滴静注500mg/100mL「DSEP」
3 2mgセルシン錠	→	ジアゼパム錠2mg「アメル」
4 メイアクトMS小児用細粒10%	→	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「OK」
5 ランソプラゾールOD錠15mg「サワイ」	→	ランソプラゾールOD錠15mg「トーワ」
6 ランソプラゾールOD錠30mg「サワイ」	→	ランソプラゾールOD錠30mg「トーワ」

4) 削除薬品

- ・プレセデックス静注液200 μ g(α 2作動性鎮静剤):シリンジ製剤採用に伴い削除
- ・アミサリン注200(抗不整脈薬):ピルシカイニド塩酸塩静注の採用に伴い削除
- ・エポエチンアルファBS注1500シリンジ(腎性貧血治療剤):使用頻度減少のために採用削除
- ・エポエチンアルファBS注3000シリンジ(腎性貧血治療剤):使用頻度減少のために採用削除